

「ご当地検定」は「地域力」を高められるか
～最近の動向と地域振興への展開可能性について～

図表1 「ご当地検定」の状況(2005年度までに開始されたもの)

検 定 名	主 催 者	級	述べ実施回数	受験者数累計(人)	テキスト作成	セミナー実施	概要 (太字は特徴的な取り組み)
2003年度以前開始							
【人材育成型】 1事例							
東京シティーガイド検定	東京観光財団・東京商工会議所	—	4回	2,680	○	○	東京を深く専門的に紹介することのできる人の育成 合格者を対象とした自主活動組織あり
【地域学型】 2事例							
山彦認定士検定	上勝自然体験学習研究会 他	1・2級	9回	—	○	○	山彦に関する知識などを町が認定 合格者に有償ボランティア資格付与、イベントと運動
博多っ子検定	NPO法人日本文化普及交流機構	日本語版	N.A.	—	×	×	Web試験 博多で培われた伝統文化から現代文化まで出題
2004年度開始 5事例							
【人材育成型】 1事例							
札幌シティーガイド検定	札幌商工会議所		7回	—	○	○	札幌の魅力を自信を持って案内できる人材の育成
【地域学型】 3事例							
ナマハゲ伝導士認定	(社)男鹿市観光協会 他	—	4回	366	×	○	ナマハゲを正しく理解し、保存伝承意識の高揚とサポーターの育成、男鹿の観光振興を目指す
宮っ子検定	宮あるき探偵団(宇都宮まちづくり推進機構)	—	2回	—	×	○	中心市街地でのイベント「まちづくり博覧会」において実施(第1回)
シュガーロード検定	シュガーロード協議会	初級～上級	3回	—	×	○	シュガーロード(長崎街道)を知り、お菓子の知識を深める 当日試験直前に講習会
【総合型】 1事例				32,762			
京都・観光文化検定	京都商工会議所	1級～3級	8回	—	○	○	合格者はギオンコーナー入場が無料、茶浴キャンパスに優待料金で参加&特別講座に無料参加 1級合格者は京都産業大学特別客員研究員応募資格付与、1級合格者の集い出席
2005年度開始 18事例							
【人材育成型】 3事例							
北海道フードマイスター認定	札幌商工会議所	—	4回	3,087	○	○	北海道の食文化、健康、食文化への理解を問う 合格者への優先的な雇用情報提供、開業希望者へのバックアップ(資金・経営等) 資格の有効期限は、3年間、更新講習の受講により、資格は継続
松山観光文化コンシェルジュ検定	松山商工会議所・(財)松山観光コンベンション協会・松山大学 他	初級・中級	初級:随時 中級:1回	—	○	○	松山に来られる観光客の方々に、親切なおもてなし対応ができる人材の育成 初級は通信制 中級合格者は「松山観光ボランティアガイド」専への登録申請資格付与
九州観光マスター検定	福岡商工会議所	2級・3級	7回	3,615	○	○	ホスピタリティと九州の知識を身に付けた人材の育成が目的 合格者70名が事業(研修、交流会、商議所事業参加登録、合格者割引、WEBサイト作り立ち上げ等)
【地域学型】 9事例							
道産子検定	北海道雑学百科ぶっちがいで	初級～上級	12回	—	×	×	Webサイト試験 北海道の魅力についての雑学検定試験
信州観光文化検定	信州観光文化検定協会	1～4級	5回	453	○	×	Web試験あり 信州の歴史や自然、文化、産業などの素晴らしさを知識として深めることが目的
金沢検定	金沢研修同友会	初級～上級	5回	5,734	○	○	「ふるさと教育」の推進と金沢という地域ブランド価値のアピールが目的
ふるさとの小松検定	石川県立小松商業高等学校	初級～中級	3回	2,603	○	○	石川県立小松商業高等学校3年生がテキストと検定問題を作って実施する手作りの検定
彦根城下町検定	彦根商店街道型	—	2回	160	×	○	彦根城下町の歴史や文化に精通する人を認定することが目的
いばらき何でも知っとこ検定	茨木商工会議所	—	1回	20	×	×	茨木市の歴史や文化に精通する人を認定することが目的
明石・タコ検定	明石・タコ検定委員会 他	—	2回	1,100	○	○	TMO:明石地域振興開発(株)が中核 “明石ダコ”を中心とした明石のおさかなに関する知識を問う検定
萩ものしり博士検定	まちじゅう博物館 萩ものしり博士検定実行委員会	修士・博士	3回	469	○	○	萩の町中にあるお宝と、それに関わる物語をクイズ形式で学ぶ。修士合格者には特別講演会、茶話会、博士合格者には「まちかどマイスター」の名譽称号、まちかど解説員に任命
宇和島「通」歴史・文化検定	宇和島市生活文化若者塾「拓己塾」	—	2回	128	×	×	「通」が好む街「宇和島」の姿を理解しているかどうか判定
【総合型】 6事例							
伊賀学検定	上野商工会議所	初級～中級	3回	743	○	○	伊賀の観光振興とともに、伊賀の歴史や文化を伝承し、人材育成につなげることが目的
岐阜市まちなか博士検定	岐阜市	初級～上級	3回	263	×	×	岐阜市についての知識や教養を認定し、ホスピタリティの向上、岐阜市の再発見をめざす
姫路観光文化検定	姫路商工会議所	1級～3級	3回	1,434	○	○	姫路に関わる知識を深め、『われわれの街 姫路』を再発見する機会を創出することが目的
有馬学検定	社団法人有馬温泉観光協会	—	1回	269	×	○	旅館従業員の接客の向上や有馬ファンの拡大が目的 合格者は「よい湯(と)こガイド」として、同温泉の案内等ができる
岡山文花観光検定	岡山商工会議所	1級～3級	3回	2,076	○	×	岡山を学びたい人、観光関係などの仕事に知識を活かしたい人に向けた検定
長崎歴史文化観光検定	長崎商工会議所	2級・3級	4回	2,779	○	×	長崎の歴史・文化を学び、ホスピタリティを高め、ガイド育成などにより、長崎のブランド力を強化

出典：各種資料より筆者整理

注意：受験者数累計は、ブランド総合研究所[2007]『ご当地検定ブームの受験者数、合格者数を独自集計(「地域ブランドNEWS2007.4.25」にもとづく(ただし、一部HPからの追加あり)、2007年4月現在の数字。なお、多段階の級を持つ検定の場合はすべての級の受験者数を合計した。